

2018 Interim Business Report

第17期中間ビジネスレポート

2017年4月1日 > 2017年9月30日



IP戦略の着実な進展を通じて ソーシャルゲーム業界における 主力プレイヤーとなり、 さらなる成長を目指してまいります

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに「第17期 中間ビジネスレポート」をお届けいたします。

当上期は、7月初旬にリリースした新規IPゲーム2本の寄与もあり、上期売上高としては、過去最高を記録いたしました。2年前より取り組んでいる、IP（他社の有するアニメやゲームなどのコンテンツ）ゲームを成長の軸とする戦略（以下、IP戦略とします）の下、これまで3本のIPゲームをリリースいたしました。いずれも順調といえるスタートを切り、ユーザーの皆様の厚いご支持により好調に

推移しております。今期中に3～5本の新規IPゲームのリリースを目指しており、来春には10本のIPゲームの運用体制を構築し、ソーシャルゲーム業界での主力プレイヤーの位置を確立したい考えです。

また、ネイティブゲーム市場における地位向上と併せ、本年8月に株式会社バンダイナムコエンターテインメント様と設立した合併会社、株式会社BXDを通じて、ブラウザゲーム市場の再開拓も目指してまいります。同社はHTML5を中核とする技術を活用したオンラインゲーム及び配信するプラットフォームの開発・運営を主要事業としており、株式会社バンダイナムコエンターテインメント様



の有するコンテンツビジネスのノウハウと、
当社の有するモバイルゲームの開発・運用ノ
ウハウを活かし、「リアル」と「デジタル」の融
合によるこれまでにないエンターテインメント
の創出を目指しております。既に、ローンチ
タイトルも決定しており、来春のリリースに
向け、開発が進んでおります。

引き続きIP戦略の下、今後リリースする
新規IPゲームアプリの全てのヒットを目指す
とともに、新しい領域での事業の立ち上げ・
拡大を目指してゆく所存です。

当社は11月13日で、創業16年目を迎え
ました。創業当時の主力事業であったブログ
サービスから、現在の主力事業であるソー
シャルゲーム事業まで、時流の変化を機敏に
捉え提供サービスは大きく変化してきました
が、どれも創業以来当社のアイデンティティ
であり続ける「with entertainment」を礎

とした、新たな価値を世に訴えるドリコムら
しいサービスであったと自負しております。
今後も、そうしたドリコムらしい、独創的で
世の中をわくわくさせるサービス・事業を
創出していきたいと思っております。

今後とも一層のご理解、ご支援を賜りませ
ようお願い申し上げます。

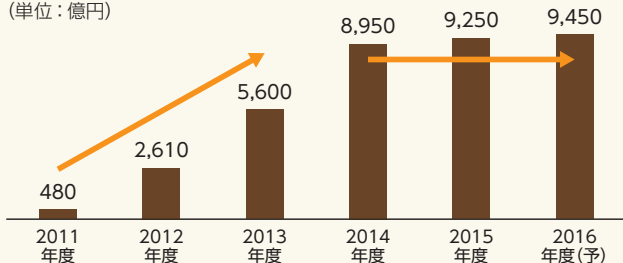


代表取締役社長 内藤裕紀

ドリコムの強みを活かし 「IP×ゲーム」を軸に事業を展開

① モバイルゲーム市場の成熟化

国内スマホゲーム市場規模
(単位：億円)

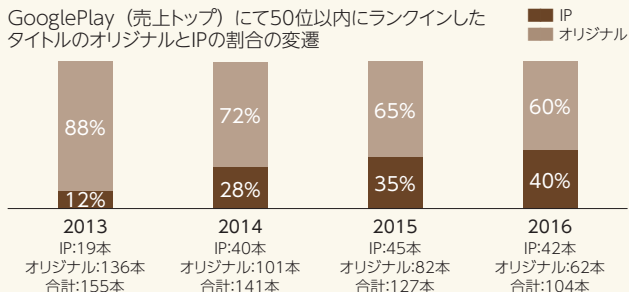


出典：矢野経済研究所「スマホゲーム市場に関する調査結果2015」

市場の成熟にともない、成長が鈍化

② IPタイトルの優位性

GooglePlay (売上トップ) にて50位以内にランクインした
タイトルのオリジナルとIPの割合の変遷



出典：ドリコム調べ

年々ヒットタイトルに占めるIPタイトルの割合が上昇

市場環境に鑑み、従前以上にクオリティの追求を優先し、開発を進める

2017年3月期～2018年3月期		2019年3月期
運用	開発中	
<p>『ONE PIECE トレジャークルーズ』 株式会社バンダイナムコエンターテインメント配信</p> <p>『ジョジョの奇妙な冒険 スターダストシューターズ』 株式会社バンダイナムコエンターテインメント配信</p> <p>『ダービースタリオン MASTERS』 株式会社フォワードワークス配信</p> <p>『みんなのゴルフ』 株式会社フォワードワークス配信</p> <p>『週刊少年ジャンプ オレコレクション!』 株式会社バンダイナムコエンターテインメント配信</p>	<p>Layered Stories 株式会社バンダイナムコエンターテインメント配信</p> <p>まぶら7カマヤシ 株式会社アニプレックス配信</p> <p>開発中 新規IPゲームアプリ</p> <p>開発中 新規IPゲームアプリ</p> <p>開発中 新規IPゲームアプリ</p> <p>3本～5本の新規IPゲームアプリのリリースを目指す。 市場環境に鑑み、クオリティの向上を最優先。 開発期間の延長や工数を増加させても、 確実なヒットを目指し、クオリティを追求</p>	<p>2019年3月期に向けた新規IPプロジェクトも、開発が進行。</p> <p>2019年3月期は運用に注力し、リリース本数は今期に比べ少ない</p> <p>新規IPゲームアプリの詳細については随時公表予定</p>
5本	3～5本 (3Q: 2～3本+4Q: 1～2本)	

既存／新規あわせ、IPゲームアプリ常時10本の運用を目指す

『ONE PIECE トレジャークルーズ』、『ジョジョの奇妙な冒険 スターダストシューターズ』、および『週刊少年ジャンプ オレコレクション!』は株式会社バンダイナムコエンターテインメントより配信中のゲームです。
©2016 ParityBit
©Sony Interactive Entertainment Inc. ©2017 ForwardWorks Corporation

株主様からのよくあるご質問にお答えします

Q1. 配当、株主優待はないのか？

A1. 当面の間は業容拡大に向け経営資源を事業投資に向けたいと考えております。業績の拡大と安定的推移を実現し、株主の皆様のご期待にこたえていきたいと考えております。

Q2. なぜ通期の業績開示がないのか？

A2. 当社の主要事業であるゲーム事業の業績は、実施施策や季節変動など多くの変動要因に左右されることから、投資家の皆様の投資判断基準に資する確度で通期の見通しを立てることが困難であります。また、新規リリースゲームの売上も推算が難しいこともあり、合理的な見通しの作成が可能な四半期ベースでの業績見通しの開示を行っております。

Q3. 未公開のIPはいつ公表されるのか？

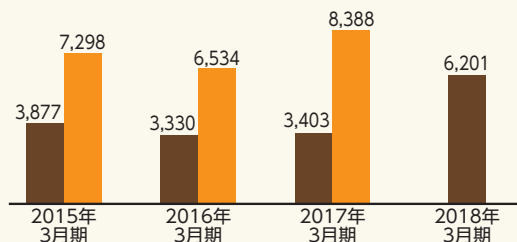
A3. 開発中の新規IPゲームに関する情報開示の時期は、版元様をはじめとする関係者との調整の上決定しております。開示可能な時期にご報告させていただきます。

Q4. リリース予定時期の変更が多くみられるが？

A4. 新規タイトルのリリース予定時期は、その時点で最も現実的なスケジュールを公表させていただいております。しかしながら、市場環境に鑑みリリース後のヒット確度を高めるべく、クオリティ向上に向けた工程が追加発生する場合もあり、リリース予定時期が変更となることがございます。また、マーケティングの観点から、収益機会の最大化を意図してリリース予定時期を変更することもございます。お待ちいただいている皆様にはご心配をお掛けいたしますが、何卒ご理解いただけますと幸いです。

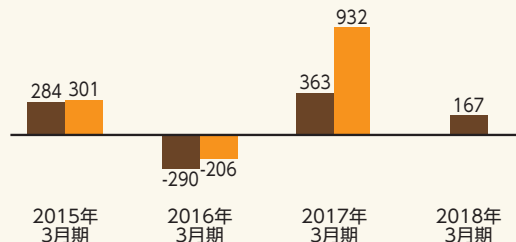
連結財務ハイライト (第2四半期)

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期



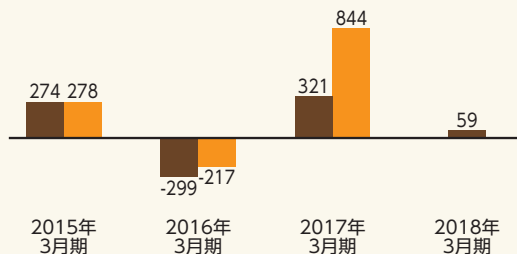
売上高 **6,201**百万円

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期



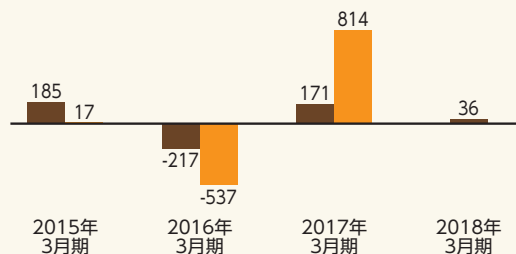
営業利益 **167**百万円

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期



経常利益 **59**百万円

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期



親会社株主に帰属する
四半期純利益 **36**百万円

当上期(2018年3月期 第2四半期累計期間)の業績につきましては、7月にリリースした新作IPゲーム2本の寄与の他、他社配信アニメ版權ゲームが引き続き安定推移を維持したこと、新規IPゲーム開発の進捗に伴う売上が計上されたことから、売上高は6,201,150千円(前年同期比82.2%増)と伸ばしました。利益面につきましては、新作IPゲームのリリース前後の積極的なプロモーションに伴う広告宣伝費やスムーズな運用への移行に伴う運用費の高止まりが利益幅を縮小させ、営業利益167,348千円(前年同期比54.0%減)、経常利益59,664千円(前年同期比81.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益36,020千円(前年同期比79.0%減)となりました。

引き続き新作IPゲームのリリースと、既存ゲームの成長を通じた売上拡大を目指すとともに、新たにリリースしたゲームの運用費用の最適化を通して収益性の向上に取り組んでまいります。

会社情報 / 株式情報 (2017年9月30日現在)

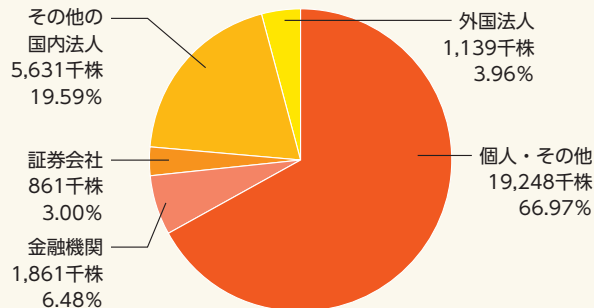
会社概要

商号 株式会社ドリコム
 本社所在地 〒153-0064
 東京都目黒区下目黒1丁目8番1号
 アルコタワー17階
 設立 2001年11月13日
 資本金 1,694百万円
 代表取締役社長 内藤裕紀
 従業員数 393名 (連結)
 主な事業内容 モバイル/PC向けコンテンツの企画・
 提供、コンテンツ事業者に対する広告
 サービス提供、広告収益型メディアの開
 発・提供
 連結子会社 株式会社ドリアップ、
 Drecom (Thailand) Co., Ltd.、
 株式会社ドリコム沖縄

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 28,742,000株
 株主数 10,506名

所有者別株式数



役員

代表取締役社長	内藤 裕紀
取締役	菅原 勇祐
取締役	後藤 英紀
取締役	石川 智哉
取締役 監査等委員 (常勤)	南 敬三
取締役 監査等委員	青木 理恵
取締役 監査等委員	村田 雅夫

(注) 石川智哉氏、南敬三氏、青木理恵氏、村田雅夫氏は社外取締役であります。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
内藤 裕紀	10,780,000	37.50
楽天株式会社	5,532,000	19.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	711,100	2.47
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	603,300	2.10
廣瀬 敏正	473,600	1.65
資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)	466,400	1.62
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	241,859	0.84
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505012	210,600	0.73
DAIWA CM SINGAPORE LTD - NOMINEE YOHEI INOUE	190,000	0.66
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	182,994	0.64

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(郵便物送付先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.drecom.co.jp/ir/kessan/>
上場証券取引所 東証マザーズ



ホームページのご案内

当社webサイトでは、最新ニュースや様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.drecom.co.jp/>

TOPページ



<http://www.drecom.co.jp/ir/>

IRページ

